

ファイアサイドセミナー 13 FS-13

日時 2013年3月15日(金) 18:20～19:20

場所 パシフィコ横浜
会議センター 第14会場(4F 418)
横浜市西区みなとみらい一丁目1番1号

CKD(慢性腎臓病)の疾患管理

～尿中バイオマーカー L-FABP(L型脂肪酸結合蛋白)の可能性～

座長 自治医科大学
学長 **永井 良三** 先生

演者 聖マリアンナ医科大学
腎臓・高血圧内科
教授 **木村 健二郎** 先生

L-FABP

ischemia
microcirculation

cardiac surgery

sepsis

renal tubular injury

acute tubular necrosis

biomarker

renal transplantation

チケットの配布方法について

- ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナーへの参加にはセミナーチケット(無料)が必要です。
- 第77回学術集会ホームページにてプレジストレーションを行います。
(2月28日締切。締切後は変更不可)
プレジストレーションをお済ませの場合、ランチョン・ファイアサイドセミナーのチケットは、参加証兼領収証(ネームカード)と同時に発行されます。
- 開催日当日も下記受付にてチケットの発行を行います。数に限りがございますのでご了承ください。
- チケットはセミナー開始と同時に無効となりますのでご注意ください。

【受付場所】

ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナー当日受付：パシフィコ横浜 展示ホールA

【受付時間】※当日行われるセミナー分のみ配布致します。

第1日目(3月15日・金)ファイアサイドセミナー 7:00～17:50

CKD(慢性腎臓病)の疾患管理

～尿中バイオマーカー L-FABP(L型脂肪酸結合蛋白)の可能性～

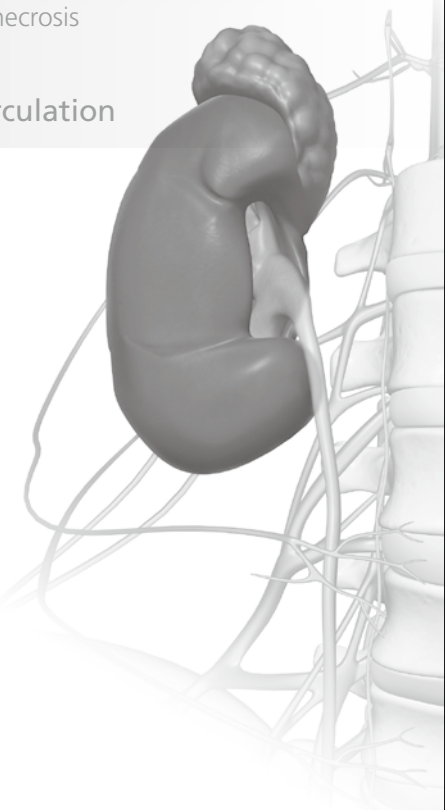
cardiac surgery
ischemia
biomarker

座長のことば

自治医科大学 学長 永井良三 先生

acute tubular necrosis
renal tubular injury
microcirculation

わが国では、心筋梗塞、心不全、狭心症等のCVD(心血管疾患)が増加の一途を辿っており、日本人の死因においても悪性新生物に次いで第二位である。その背景として、CVDの危険因子だけでなく、新たな国民病とも言われるCKD(慢性腎臓病)が存在する。両者は密接に関わっており、早期診断と治療が重要である。日常診療では、尿中アルブミンをはじめとするバイオマーカーを測定することが多いが、昨今、尿中アルブミンとは独立するバイオマーカーとして尿中L-FABPが注目を集めている。腎症の早期発見が可能な尿中L-FABPの臨床的有用性を理解することで、新たな治療の可能性を探る機会となり得る。本セミナーでは、聖マリアンナ医科大学の木村健二郎先生をお迎えし、腎臓と心血管疾患との関連、また日本発の尿中バイオマーカーであるL-FABPの可能性についてご紹介いただく予定である。



パシフィコ横浜 周辺マップ

パシフィコ横浜
PACIFICO YOKOHAMA

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

